

つばめ通信

『山中湖中学校だより』 平成27年度
平成27年9月1日発行 第9号



ここ山中湖でも、30℃以上の真夏日が連続8日間という記録更新。そんな猛暑の名残もどこへやら…。すっかり秋めいた今日この頃です。先月24日(月)には、気持ちも新たに2学期がスタートしました。

早いもので今日からは9月。9月と言えば「秋」の訪れです。秋という季節は、四季の中で最も多くの冠がつけられます。「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」…いずれにしても活動的なイメージで捉えられるのが秋でしょう。厳しかった残暑も和らぎ、身体を動かしやすく、食べ物も大変おいしい好季節です。反面、夜が長くなり、読書や夜なべにいそしんだり、朝寒夜寒が段々とつづいて、物寂しめ感じられる落ち着いた季節でもあるでしょう。

そんな秋は、大人もさることながら、子どもたちにとっては「大きく伸びる」時でもあります。目前に迫った「から松祭」をはじめ様々な文化的・体育的行事が目白押し。その一つ一つに自分からどう関わりを持って臨んでいくか…、個性をどう発揮するか…、協調性をどう生かすか…、集中力をどこまで保てるか…等々、社会に出たときに求められる様々な人間力が凝縮されています。

そして、さらに肝心なのは、そんな動きの激しい時間の中で、学生の本分である勉強をいかに地道に積み上げていけるか…も試される季節です。目の前の雰囲気だけに流されてしまわず、その先にある自分の姿(将来)を忘れずにひたむきな努力を怠らないことを心がけなければなりません。

子どもたちにとっては、まだまだ難しい課題かもしれませんが、2つ・3つ・4つのことを同時進行させていくことは必ず成長の糧になるはずです。秋の終わりには、「成長の秋だった!」と思える2学期であってほしいと願っています。



はんきょう 「絆響」∞(インフィニティ) 第46回から松祭…準備着々

来週9日(水)・10日(木)の2日間にわたって、伝統ある「から松祭」が開催されます。

生徒会にとっては1年間の最大行事。卒業後も忘れられない思い出となる行事です。それだけに、事前の取り組みにも真剣なものがあり、日を追って熱を帯びた取り組みが現在進行中です。



133名の心を一つに!…全校合唱の練習風景



躍動感!…体育の部:長縄飛び&ソーランの練習



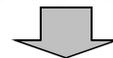
縁の下を支える装飾や文化などの実行委員会での準備

「英語特区」申請中です!

山中湖中学校は、特色ある学校づくりを目指し、本年4月から外部講師を招へいしたり、大学との連携を図ったりと生徒の学力向上に向けた取り組みを進めてきました。とりわけ英語については、毎年数十万人の外国人国際観光者が訪れる山中湖村の地域の特性をも考慮し、英語力の向上を目指して毎時間のTT授業をも実施してきました。

しかし、英語指導のための十分な余剰時間を確保することが困難なことや、法で定められた各教科の授業時数を変更することができない縛りがあることから、新たに教育課程の特別な編成ができるよう平成28年4月の指定を目指して、「教育課程特例校」=「英語特区」を文部科学省に申請中です。

特区の認可を受けると、教育委員会の命を受けて特別な授業編成をすることができるようになります。



- ★ 現行、1年生から3年生まで週4時間(年間140時間)の授業時数を確保しているが、さらに実用的・実践的な英語力をつけるため、週1時間(年間35時間)の「英会話」の時間を設ける。
- ★ 「英会話」の時間の編出については、現行の「総合的な学習の時間」(1年生:年間50時間、2・3年生:70時間)からそれぞれ年間35時間を当て「英会話」の時間に組み替える。

なお、この「英語特区」については、小学校1年生から中学校3年生まで一貫性のある英語教育が行えるよう、山中湖村教育委員会のご指導をいただきながら山中小学校・東小学校とも村内3校同一歩調で申請をしているところです。文部科学省からの認可が下りるのは、来年2月末くらいを予定しています。

保護者の皆さまのご理解を宜しくお願い致します。この件についてのご意見なども是非お聞かせ下さい。

